

(参考) 前回委員会で出たご意見(要旨)

特別枠について

10周年特別助成として、事務局が案として提示した(仮称)「学生・子ども枠」については、事務局案のうち、委員会より以下の通り意見が提示され、再度事務局で検討し、次回11月に予定している第3回委員会において、再度審議を行うこととした。

<主な意見等について>

○「学生」の範囲について

- ・申請の対象とする「学生」の範囲として、専門学生も含むこととし、助成募集時にそのことを明示する必要があるため、記載の方法等を検討する必要があるのでは。

○申請の方法について

- ・小・中学生と高校・大学生の助成審査や助成額を分けることについては前回決定した。しかし、小・中学生枠を先着順、高校・大学生枠を採点・審査とするという事務局案について、先着順についてはデメリット・メリットを勘案の上、再検討が必要。
- ・小・中学生の活動が先着順というのは、後から申請された事業が素晴らしい活動であったときに、もったいない。
- ・小・中学生の事業実施時期が夏休み期間(7月～9月)というのはいいと思うが、申請期間が5、6月となると、学校も新学年、団体も新体制で、申請が先着順となると厳しいため、先着順を外しては。
- ・先着順というのも、一つの合理的な線引きという見方もあるが…。

○申請等スケジュールについて

- ・大学生等は、夏休みよりも秋以降に活動が活発になるので、募集期間、事業期間の見直しを検討してはどうか。
- ・対象によって申請時期をずらすなど、できるかぎり、弾力的な運用方法を検討すること。

○イベントについて

- ・あいぽーとフェスティバル、表彰式での10周年イベントについても、参加者・活動者双方が楽しめるよう、検討してほしい。

○特別枠の名称について

- ・(仮称)学生・こども枠の名称について、正式に周知する名称を再検討したい。

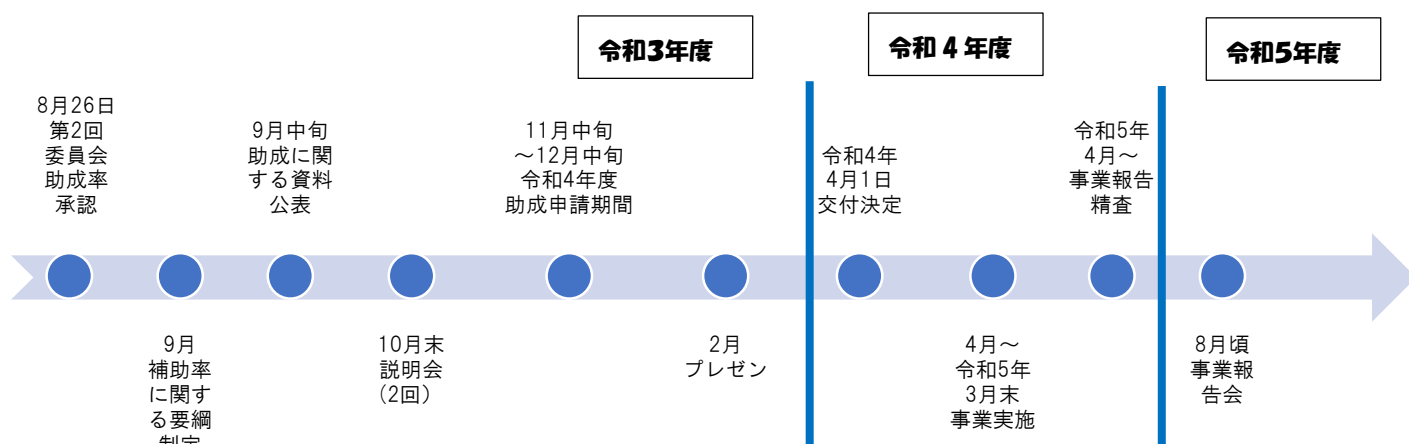
裏面に前回委員会時の資料の一部を記載しています。

※第2回委員会資料1 10周年特別助成について（1部抜粋）【今後のスケジュール案】

通常枠と（仮称）学生・こども枠のスケジュールについては、時期をずらす。

①通常枠について

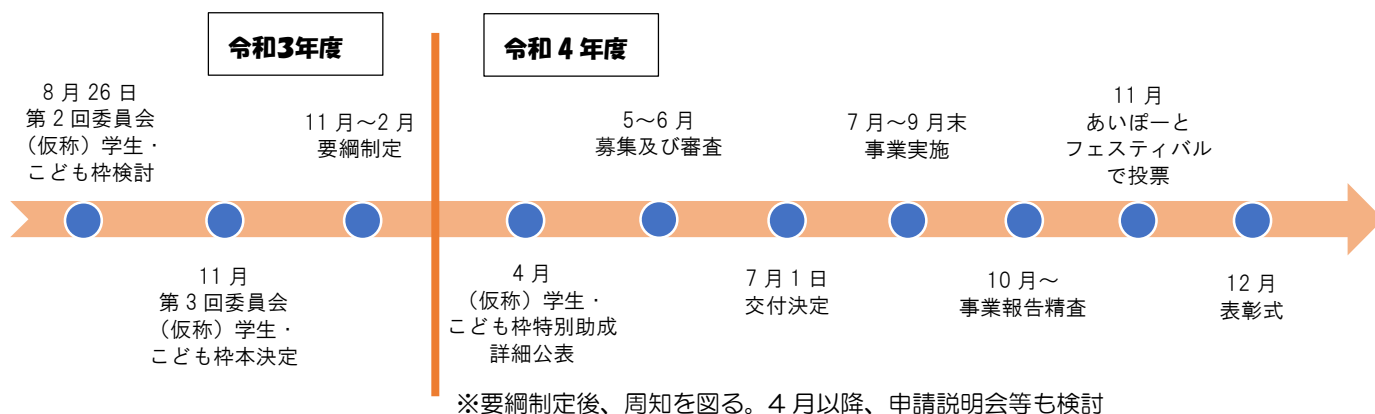
補助率の変更について、委員会で承認を受けた場合、9月中に「補助率の特例に関する要綱」（仮）を制定。



②（仮称）学生・こども枠について

（仮称）学生・こども枠については、第3回委員会で最終決定。

その後、要綱作成、令和3年度中に要綱を制定し、令和4年4月以降の助成広報を予定。



【10周年事業 寄附促進の取組み・イベントについて】

寄附促進の取組み・イベントについては、令和3年度第1回委員会において、イベント事業の充実に対する意見を多く頂いた。そこで、10周年特別助成と連携した事業として、既存の報告会の充実や、あいぽーとフェスティバルの活用、特別枠の取組みについて、表彰式の開催等を検討していく。